

南部派出所にも救急車 強化された救急体制

最近の大分市は新築建設ラッシュで交通量は増加の一途をたどり、交通事故も増加しています。

このため、市の救急車の出動回数も急増し、救急体制はシビシとなつてきました。

そこで市ではこれを打開するため十一月一日から大分消防署南部派出所内に救急隊臨時派出所を開設し、国道十号線の交通事故重傷者や急病人に備えることにしました。

ふえる救急車出動 多い日は一日に12回も

現在、救急車は大分消防署に二台(一台は予備車、鶴崎消防署に一台配置されていますが、今年十一月十九日現在では千五百七十一回も出動しています。これは昨年一年間の出動回数千三百五十四回をすでに突破しています。

とくに一日の交通量が二万台をこえる十号線では今年九月末で五百件、死傷者が八百九十四人にのぼっています。

そこで市では市内と十号線沿いの救急体制を二分し、負傷者、急病人を一刻も早く運ぶため南部派出所内に救急隊臨時派出所を設け、救急車一台を置くことにしました。

この救急車は定員十名のマイクローバス型で一度に三名の重傷者を運ぶことができます。

この南部派出所救急隊は十号線

区別	総出動回数	搬送人員	総出動回数中の急病の出動回数
40	488	395	108
41	769	665	219
42	851	706	266
43	983	896	359
44	1098	958	402
45	1354	1190	556



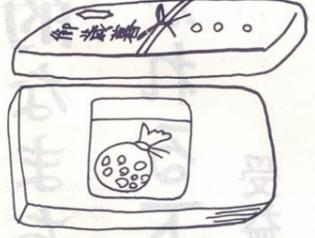
一刻も早く現場へ(救急隊で)

目でみる消費生活 過大包装を考える

「あなたは中味三百二十五円の砂糖を五百円で買っています」と言われて、おどろくことでしょうか。つまり箱代百七十五円を負担しているわけです。

これはある雑誌の調査ですが公正取引委員会でもこの夏贈答、観光みやげ用の食品のうち四十五%が過大包装気味だと発表しています。

一方、生産者も売店もこのよな包装は消費者の好みがからず、処理の立場からみてもおとす時期に来ているようですよ。お歳暮の季節をむかえ、消費者一人一人が良く考えてみたいものです。



ぐんと減った火災 だが一般家庭は多い

この大分市の火災発生件数は大幅に減少しています。十一月十五日現在で百四十四件、昨年同様の百五十三件に比べて三十九件も少なくなっています。この主な理由は①一般家庭の防火断り、防火意識が高くなったこと、②市民総ぐるみの防火推進運動が実を結んだこと、③市民総ぐるみの防火断り、防火意識が高くなったこと、④市民総ぐるみの防火推進運動が実を結んだこと、⑤市民総ぐるみの防火断り、防火意識が高くなったこと、⑥市民総ぐるみの防火推進運動が実を結んだこと、⑦市民総ぐるみの防火断り、防火意識が高くなったこと、⑧市民総ぐるみの防火推進運動が実を結んだこと、⑨市民総ぐるみの防火断り、防火意識が高くなったこと、⑩市民総ぐるみの防火推進運動が実を結んだこと。

市立幼稚園児を募集します

市立幼稚園の園児を募集します。入園できる幼児は48年4月1日からお渡します。受付は1月13日からです。定員になり次第締め切ります。

(市教育委員会)

県営住宅入居者を募集

県では来年1月15日完成予定の敷戸団地の県営住宅(3百20戸)の入居者を次のとおり募集します。

▽受付期間 12月10日～18日

▽受付場所 県建築課

▽家賃 5千円～7千円

▽抽せん 12月22日13時30分

県庁正庁ホール(県建築課)

老人医療証を持っていますか

12月1日から医療機関などで受診するとき、または市に医療費助成申請書を出す際は老人医療証が必要となります。

市では9月末現在で75歳に達した人、10月以降降参を受けたことのある人に老人医療証を交付しましたが、まだ交付を受けていない人、新たに満75歳になった人は市社会課、支所市民係に申し出て下さい。(社会課)

老人居室整備資金を貸します

70歳以上の老人と同居する世帯で、老人の居室を増築改築し、より住みやすい環境を整備するに有利とする世帯に建設資金を無利子で次のとおり貸し出します。

▽貸付対象者

①市内に引き続き3年以上同居していること

②現在老人と同居し、扶養していること

③建築しようとする者であること

12月の交通事故相談

相談日	場	所	時間
14日	岡田	支所	午前中
18日	大南	支所	午前中
21日	大南	支所	午前中
25日	大南	支所	午前中

本庁は上記の日、木曜日、休日を除く日にいつも行なっています。

引揚者国債の買上げと貸付け

引揚者特別交付国債の買上げと貸付けを次のとおり行ないます。希望者は社会課、支所市民係に申し込んで下さい。

(買上げ)

対象者 ①生活保護者 ②生活困窮者 ③高齢者(65歳以上)

②③の方は地区民生委員の証明書をもちこたさい。証明用紙は社会課、支所市民係に用意しています。

買上げ額 一人最高12万円

「友愛ベル」設置補助申請受付中

ひとり暮らしの老人が日常生活での非常事態に対処するためベルを設置する方にその費用を助成することになりました。

▽助成の対象

①単身世帯の老人で、常時世話をしてくれる近親者がいない者

②隣家に連絡するため、その承諾を得られる者

▽助成金

設置費の2割に相当する額でその額が2千5百円を超えるときは2千5百円を限度とします

▽その他

申請書は、市社会課または

お知らせ

姉妹都市帯広市の物産展

11月16日から28日までトキハ百貨店で開かれました。会場では鮭、シシャモ、じゃがいも、くまの木彫りなどが人気を呼んでいました。

中小企業者へ 事業資金を融資

市では中小企業者(年末特別融資)を次のとおり行なっています。

融資を希望する方は早めに指定の金融機関に申し込んでください。申し込みの際は金融機関に「市の年末特別融資」と言ってください。

▽貸付金額 50万円以内

▽申込期間 12月30日まで

▽返済期間 3カ月以内

▽指定金融機関

大分銀行・支店、商工中金大分支店、豊和相互銀行支店、大分信用金庫支店、府内信用金庫支店

自作農資金を貸します

将来自立経営農家をめざして現在農業に従事している方(農地・未農地取得資金)

貸付金額 農地：2百万円以内、未農地：百万円以内

利率 年3分5厘

償還期間 25年以内(据置3年を含む)

(維持資金)

災害、疾病、負傷、相続、負債整理などに必要な資金

貸付金額 維持30万円以内(災害のみ80万円以内)

利率 年5分

償還期間 20年以内(据置3年を含む)

申込締切 両資金とも12月25日

このほか農業生産法人に対しても貸し出しを行なっています。

詳しいことは市農業委員会事務局(電話46111)へお問い合わせください。

12月は国民年金の納期です

今月は国民年金第3期分(10月分)12月の納期です。12月31日までに、近くの市の指定の銀行、または国民年金納付組の代表者のお宅に届けてください。滞りがあると万一の事故の場合の母子年金、障害年金、老齢年金が受給できないことがあります。ぜひ年内に納めてください。(国民年金課)

生活相談係の利用

大分警察署では生活相談係を設け、みなさんの心配ごと、悩みごとの相談に応じ、気軽にご利用ください。

12月の健康相談

市助産婦会ではお母さん教室を毎週金曜日13時から15時30分まで長浜町の保健所3階ホールで開いています。受講は無料です。

今月は3日・10日・17日・24日です。

人権相談所(無料)を開設

大分人権擁護委員協議会、大分分庁事務所は12月4日から始まる人権週間行事として次のとおり無料相談所を開設します。相談には地元人権擁護委員

制度名	融資対象	資金の使途	借入限度額	期間	利率	保証人	担保
特別	市内で一年以上同一事業を行なっている	運転資金	50万円以内	20ヶ月以内	年8.5%	2名以上	不要
特小	中小企業者	設備資金	200万円以内	3年以内	年1.0%	2名以上	必要
経営改善	市内で二年以上同一事業を行なっている	設備資金	300万円以内	3年以内	年7.5%	2名以上	原則として必要
資金	中小企業者	設備資金	200万円以内	3年以内	年7.5%	2名以上	原則として必要

12月の健康相談

場	日	時間
市役所保健室	9日	9時～11時
鶴崎支所	13日	13時～15時
大南支所	20日	13時～15時
大南支所	15日	13時～15時
大南支所	14日	13時～15時
大南支所	22日	13時～15時

お母さん教室

市助産婦会ではお母さん教室を毎週金曜日13時から15時30分まで長浜町の保健所3階ホールで開いています。受講は無料です。

今月は3日・10日・17日・24日です。

生活相談係の利用

大分警察署では生活相談係を設け、みなさんの心配ごと、悩みごとの相談に応じ、気軽にご利用ください。